

<障がいのある方がつくる「まごころ製品」の認知度等について>

【調査の目的】

福岡県では、障がい者施設で働く障がいのある皆さんの収入向上を図るため、障がいのある皆さんがつくる製品や提供しているサービスを「まごころ製品」(※1)と名付けて販売促進に取り組んでいます。

また、「まごころ製品」ロゴマーク(※2)を公募により決定し、「まごころ製品」の販売や提供の際に商品に貼るなどしてPRに利用しています。

しかしながら、「まごころ製品」の認知は進んでおらず、障がいのある皆さんの収入向上に結びついていないことから、皆さんの「まごころ製品」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考としたいと思います。

【活用状況】

アンケート結果を、「まごころ製品」の認知度を向上する施策や、販売機会の提供場所等、効果的に事業を実施するための検討資料として活用。

(福祉労働部 障がい福祉課)

※1 「まごころ製品」とは

障がいのある皆さんが、まごころを込めてつくる製品や提供しているサービスのこと。パンやお菓子、縫製品、木工品などの製品や、清掃や除草、印刷、クリーニングなどのサービスがあります。

※2 「まごころ製品」ロゴマークとは

「まごころ製品」の一体的なイメージを表したマークです。



<1> 「まごころ製品」という名前を知っていますか。

(N=358 選択は1つのみ)

知っている。	34.4%	(123名)
知らない。	65.6%	(235名)
無回答	0.0%	(0名)

<2> 「まごころ製品」ロゴマークを見たことがありますか。

(N=358 選択は1つのみ)

見たことがある。	20.9%	(75名)
見たことがない	79.1%	(283名)
無回答	0.0%	(0名)

〈3〉 「まごころ製品」を購入（利用）したことがありますか。

(N=358 選択は1つのみ)

購入したことがある。	31.5%	(113名)
購入したことはないが、購入したいと思っている。	55.9%	(200名)
購入したことはないし、購入したいとも思わない。	12.6%	(45名)
無回答	0.0%	(0名)

〈4〉 「まごころ製品」を購入（利用）した額はいくらですか。

※ 複数回購入（利用）したことがある場合は、1回当たりの平均購入（利用）額を選んでください。

(回答は、〈3〉で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=113 選択は1つのみ)

500円未満	44.2%	(50名)
500円以上1,000円未満	32.7%	(37名)
1,000円以上1,500円未満	11.5%	(13名)
1,500円以上2,000円未満	3.5%	(4名)
2,000円以上	8.0%	(9名)
無回答	0.0%	(0名)

〈5〉 「まごころ製品」はどこで購入（利用）しましたか。

※ 複数回購入したことがある場合は、購入した回数の多い場所を選んでください。

(回答は、〈3〉で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=113 選択は2つまで 回答件数=157)

まごころ製品ショップ（県庁地下1階常設ショップ）	7.6%	(12名)
障がい者施設	21.0%	(33名)
道の駅	23.6%	(37名)
デパート、スーパー	10.2%	(16名)
県庁舎、市区町村役場	14.7%	(23名)
その他	19.1%	(30名)
無回答	3.8%	(6名)

〔その他（抜粋）〕

- ・ 公共施設（地域活性化センター、健康づくりセンター、男女共同参画推進センター等）
- ・ グリーンコープ等のカタログ販売
- ・ イベント（お祭りでの出店、学校のバザー等）
- ・ 職場の同僚の紹介
- ・ 駅に併設されているショップ
- ・ 毎年、会社で購入したものが、配布される

〈6〉 芋焼酎「自立」(※3)を知っていますか、また、購入したことはありますか。

※3 芋焼酎「自立」とは

障がいのある皆さんがまごころを込めて栽培したさつま芋(ジョイホワイト)を原料に、酒造会社の協力を得て、福岡県と県内8つの障がい者施設が共同で開発した芋焼酎。

(N=358 選択は1つのみ)

購入したことがある。	1.4%	(5名)
知っているが、購入したことはない。	6.7%	(24名)
知らないし、購入したこともない。	91.9%	(329名)

無回答 0.0% (0名)

〈7〉 「まごころ製品」についてこれまでの設問以外に意見がありますか。

(N=358 選択は1つのみ)

ある	12.0%	(43名)
特にない	88.0%	(315名)

無回答 0.0% (0名)

〔「まごころ製品」に対するご意見(要約・抜粋)〕

○ 広報活動について

- ・まごころ製品は日常生活ではあまり認知されていないです。意識しなければ見ることが少ないか気づかないと思います。販売するところを増やしたり、まごころ製品のマークを周知したりすれば広まると思います。【類似回答ほか4件】
- ・できるだけ協力して購入したい。この機会にまずは自ら購入してみようと思いました。
- ・もっと世間が知ることができるような対策を考えてほしい。
- ・スーパーや量販店のチラシに載せてアピールし、知ってもらうようにしたら良いと思います。
- ・県政・市政だよりでは読み飛ばす可能性があるなので、一番身近な公民館だよりも載せて頂けるとありがたいです。
- ・もっと広めていくような活動を期待しています。学校でも定期的に交流して認知度や思いやりを高めていてもらいたいです。
- ・社会福祉協議会主催で小学生を対象に、まごころ商品と一緒に作る取り組みがありました。とても良いと思います。周知のためにも、親子や、子ども、一般の大人も対象として一緒に作る取り組みも効果的だと思います。

【商品について】

- ・まずは「まごころ製品」について認知させることが重要で、あとはブランド化を図れると良いと思う。

- ・商品性を上げて、もっと広く一般に浸透してほしいです。
- ・適正な品質、価格で販売すれば、まごころ製品とアピールしなくても売れるはず。
- ・多少値段は高くても、他にない特徴（デザインとか質とか）、付加価値のあるものであれば売れると思う。
- ・「まごころ製品」で無くても、障がい者をいろんな場所で雇用して頂ければ、そこで提供される品物は「まごころ製品」と同じ意味合いのものになるのでは無いでしょうか
- ・販売するもののパッケージの可愛さなども購買意欲を誘うため、障がいがある子の絵の中から、可愛いものをセレクトして使ってみていただきたいと思います。素朴だったり、純真さを感じられる可愛いものがあるはずです。
- ・障がい者支援、収入や利益確保の意味合いも理解はできるが、先ほどの焼酎もそうだが割高感是否めない。二の足を踏む要因。【類似回答ほか3件】

【販売について】

- ・販売方法に工夫が不可欠である。
- ・通販サイトがあること自身はいいことですが、少し写真がもったいなく感じました。
- ・ホームページを見ましたが、購入方法が少しわかりづらいですね。もっと見やすいようになればいいのになあと感じました。
- ・お菓子などおいしいので、もっと購入できるお店が増えるとよい
- ・小倉の「1丁目の元気」や、アレアスのショップ「スマイクリー」のようなアンテナショップのようなものが増えて欲しいですね
- ・作っている人の紹介などをしたら、障がいのある方への理解も深まるし、購入者も安心して購入できると思う。
- ・トータルマネジメントが必要だと思います。
- ・まごころ製品とは知らずに購入し、それがたまたままごころ製品だったということが増えるように、売り方の工夫や支援をした方がいいと思う。コンビニやスーパーのレジ前にあるものは目に付くから買おうとするだけであって、まごころ製品を探しに店を回る事はないと思う。
- ・商品にレベルの差がありすぎる。お金を得る以上、ある程度のクオリティは必要だと思います。障がい者だからこのレベル、ではなく、福岡のまごころ製品はレベルが高いと認知してもらえるように、例えば複数の施設を集めた講習会の開催や、講師を招く頻度を上げる。また、障がいのある方と一緒に「まごころ製品」を作り、広くその難しさを理解してもらおう等の取組みを実施する。

【名称について】

- ・なぜ自由競争市場で「まごころ製品」と特別表示する必要があるのか。障がい者の方が作ろうと工場で作ろうと良いものは良いはず。そもそもそういった標記をしないほしい。これこそ差別。【類似回答ほか1件】
- ・「まごころ製品」や「自立」のネーミングの優しさは理解できますが、なにかインパクトがあり、かつ一般の製品名に並ぶネーミングはないものでしょうか。
- ・私は、マークがついていようがいまいが、買いたかったら買うし、買いたくなかったら買わない。

ら買わないです。

〔その他のご意見（要約・抜粋）〕

- ・「障害者優先調達推進法」により、国や地方公共団体等は、障害者就労施設等から優先的に物品等を調達するよう努めることとされている。「まごころ製品」の認知度向上のために、県や市町村は、今よりもさらに障がい者就労施設等からの調達を進めて欲しい。
- ・県庁地下1階のショップに行ったことがありますが、「なんでこんなわかりにくい、人目につかないところにあるのだろう？」と不思議に思いました。できれば1階や食堂の近くなど、目立つ場所に移動してもらいたいです。いい商品が多かっただけに、とても残念に思いました。
- ・障がい者の方が作ったものやカフェを利用するというのはなかなかハードルが高いと思うので、行政も民間と連携して利用しやすい機会を増やしてもらえたらいいのかなと思います。
- ・焼酎知りませんでした！ぜひ購入してみたいです。

障がいのある人の収入向上、自立と社会参加の実現を目指して

● 販売会を開催

福岡三越において、県内の「まごころ製品」を一堂に集め、5日間の大規模販売会を開催しています。

また、県の総合庁舎18か所で「まごころ製品」の定期販売を毎月行っているほか、12月の障害者週間には県庁や議会棟でも販売会を開催しています。

● ウェブサイトでの紹介 (<http://magokoro-ichiba.jp>)

インターネットを通じて「まごころ製品」を購入できるウェブサイト「まごころ製品ショップ」を開設し、「まごころ製品」をカテゴリー別、地域別、施設別に分かりやすく紹介しています。



大規模販売会



芋焼酎「自立」

(問い合わせ)

福祉労働部障がい福祉課

TEL : 092-643-3264

E-Mail :

shakaisanka@pref.fukuoka.

lg.jp